

希少疾患連絡会 セミナー

日時：2025年8月12日（火曜日）18時～20時

開催形式：オンサイト+オンライン（ハイブリッド形式）

場所：エイツーヘルスケア株式会社A2HALL
（文京区小石川1-4-1住友不動産後楽園ビル20F）

現地参加希望の方は、前日までにエイツーヘルスケア山田、もしくは大会にご連絡下さい。
先生方とのコミュニケーションをため、是非オンサイトでご参加をお願いいたします。

第一部：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 遺伝子疾患治療研究部

青木 吉嗣 先生

◇講演タイトル：「神経筋疾患に対するヒト尿由来幹細胞研究の基礎と応用」

◇尿由来幹細胞(UDCs)は、非侵襲で取得出来る患者さん由来の幹細胞として、iPSCs作成の活用にも使われてきましたが、患者さんの遺伝背景のみならずエピジェネティックな要因も維持した機能性細胞に、リプログラミングが可能であることも報告され始めました。青木先生はAMEDの「尿由来幹細胞のダイレクトリプログラミングを活用した神経難病創薬プラットフォームの構築」の研究代表として企業とのUPCs活用拡大を主導されています。希少疾患連絡会ではUDCsの活用により様々な希少難病の新薬創製に繋がることを願って青木先生のご講演をお願い致しました。

第二部：福島県立医科大学

本間 美和子 先生

◇講演タイトル：「がん予後バイオマーカーとしてのCK2」

◇TNBCを始め、既存抗がん剤の効果があまり期待できないがんは存在しています。本間先生はがん予後に関連する生体分子を研究される過程で、癌核小体におけるCK2の局在ががんの予後や再発に関係することを見出され、癌予後マーカー検出手法の国内権利化が成立しました。TNBC患者さんの病理サンプルに於いて核小体に陰性である時にはほぼ100%近くが再発しないとのデータを得られました。小さなお子さんを抱えるお母さんが再発しない可能性を知ることは非常に大きなことと患者サイドの人間として思います。CK2はがん周囲のTME等でも検出されることから、今後は個人ごとに由来する細胞等でのCK2局在が癌予後に関係するかなど、実用化への発展を期待し、ご講演をお願い致しました。

Zoom情報

<https://us02web.zoom.us/j/82225428948?pwd=6gAFIWBzRzHvCNuCxLGiqXrGgWofy64.1>

ミーティング ID: 822 2542 8948

パスコード: 179226



命の危うい
希少難病患者
さんの為に

希少疾患連絡会 事務局 大倉：yotarou893@gmail.com

エイツーヘルスケア株式会社 セミナー担当 山田：yamada-ay@a2healthcare.com